

《第一次インドシナ戦争》

第二次世界戦の後、日本軍の撤退を受け、1946年、国民は独立国としてベトナム民主共和国を誕生させようとした。フランスは旧来の植民地権限を確保しようとしてこれに介入、傀儡政権を作り、植民地支配を維持しようとした。この時期インドシナ3国共同の解放運動が起き、1951年にはベトナム労働党（ホーチミン主席）が結成された。

フランスとの戦闘は主に北部ランソンからカオバンの間で激しく闘われた。フランス軍は25万人もを投入したが、次代に点（都市）のみの支配となった。

1954年1月、フランス軍はラオス国境地帯の平原 **ディエン・ビエン・フー** に兵を終結し、一大決戦に持ち込んだが敗北。ジュネーブ協定で北緯17°以北がベトナム民主共和国として成立した。



《第二次インドシナ戦争》 一般にこれをベトナム戦争とといいます。

◎ 戦争の激化、エスカレーション

1954年以降、フランスはアメリカに南ベトナムの支配を委ねた。アメリカは、ゴ・ディン・ジエムなどの傀儡軍事政権で支配しようとしたが、圧制と腐敗で民衆の支持は得られず、解放軍に追い立てられた。

1964年アメリカは **トンキン湾事件** をでっちあげ、北ベトナムへの空爆（北爆）を開始した。

- ・アメリカ軍の介入が本格化 64年2.5万人が 65年には19万人、**最大50万人**となった。

韓国5万やオーストラリア8千なども投入

◎ 苛烈な戦闘、空前の爆撃、空前の死者

1) この戦争の死者

- ・北ベトナム、解放軍: 民間人含め310万名
- ・米兵: 5.7万名 ・同盟軍(韓国等): 6000名
(第二次世界戦の日本の軍民死者約300万)

2) **爆弾** ☆B52爆撃機による爆撃がほとんど

- ・北爆200万t、南爆370万t、ラオス・カンボジア

120万tの爆弾が落とされた。(全体では1400万t以上の説もある。第二次大戦の日本16万t)

3) **枯れ葉剤散布**: 7万トン以上が撒かれた。

⇒解放軍が潜むジャングルを消滅させるためとされた。

⇒2.4万平方キロ(岐阜県の2倍以上)の森林や耕地が

破壊され、マングローブの40%が消滅

(自然回復には1世紀以上を要するといわれる。)

⇒ダイオキシン成分により、遺伝子破壊、奇形児が発生。

- ☆ **沖縄の嘉手納基地**は、後方基地、野戦病院と化した。

参戦した韓国軍、SEATO連合国軍

	1966	1967	1968	1969	1970	1971
韓国軍	25570	47830	50000	48870	48540	45700
オーストラリア	4530	6820	7660	7670	6800	2000



B52戦略爆撃機(ボーイング社): 8基のエンジンを搭載、**成層圏の要塞** 全長48m、翼巾58m。

爆弾積載量16t、現在も現役。

爆弾: ナパーム弾: 全てを焼き尽くす

ボール爆弾: 人の殺傷に特化の爆弾



枯れ葉剤の影響で、周りの林は今も大きな木が育たない。

- ☆ 1968年頃には、アメリカの代理戦争と化し、テト攻勢などで多くの死者も出した。
⇒ソンミ村事件（米軍が村民400人余全員を焼き殺した）などが発覚し、反戦運動が世界中へ広がっていった。

◎ **反戦の運動** 「反戦」という言葉が一般化したのは、ベトナム戦争だともいえます。

- ☆ 傀儡政権は孤立化を深め、グエン・カーン等は狂暴化し、民衆への圧迫を強め、デモへの発砲も激しく、抗議への**僧侶らの焼身自殺**なども相次いだ。



焼身自殺の僧 (旧サイゴン)

- ☆ アメリカ国内でも**フォークシンガー**や帰還兵らが反戦を訴え、数十万のデモ・集会在各地で行われた。(反戦フォークの始まり)

- ☆ 戦争への意味も問われ、徴兵拒否の動きも盛んになった。

- ・プロボクシングのモハメド・アリは徴役を拒否し、そのことで投獄され、チャンピオンの座も追われた。

- ・運動は反黒人差別、公民権運動とも合同した。

☆ **日本では反戦ストライキ**

日本では1966年10月21日、総評の訴えに応え反戦ストライキが行われ、210万人が参加、職場集会には308万人が参加した。

唯一の反戦ストで世界中で評価され、後、この日は「国際反戦デー」とされ、翌年には世界中で集会が行われた

- ☆ 反戦の声はオーストラリヤが撤退開始(70年)、アメリカ軍も撤退を始めるきっかけにもなった。



ワシントンで行われた反戦集会には、50万人が集まった
⇒反戦フォーク歌手：ジョーンバエズ、ビートシーガー、岡林信康らが活躍。

◎ **戦争の終結** 1975年

- ☆ 1975年4月、解放軍が日毎にサイゴンに迫り、4月30日大統領官邸に戦車が突入し、戦争が終結した。

(サイゴン市内は戦場とはならなかった。)

- ・解放後 傀儡政権関係者や米軍協力者たちはボートピープルとして逃げ、多くが命を失った。



1975年4月30日、解放軍の戦車が大統領官邸に突入。30年もの長きにわたった戦争が終結した、まさにその瞬間でした。

《第三次インドシナ戦争》

◎ **カンボジア内戦** 1975年~1979年

- ・ロンノル政権(アメリカ支援)の独裁の後、中国の後押しでポルポトが政権を掌握した。
- ・ポルポトは、毛沢東影響により原始共産制を目指し、文明拒否の支配をした。知識層を抹殺、都市から人を追い払い、飢餓を起こした。大虐殺は150万人ともいわれる。
- ・1993年解放軍(ヘンサムリン)が政権を樹立し、選挙が行われるまで内戦が続いた。

◎ **中越戦争** 1978年~

- ・中国の50万の軍隊がベトナム領**ランソン**、カオバン、ラオカイからハノイ方面に深くに侵入した。
(ランソンとハノイ間は70km)

- ・1979年、ベトナム軍の反撃にあい撤退
→その後も、中国の侵略は繰り返された。1990年に和解成立



赤旗新聞高野記者狙撃された地。